



ともにいきる



カラットの秋祭りイベント

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まったところ、きつと二、三年も辛抱したら終息宣言が出て元の生活に戻るのだろうと考えていました。

現実には終わりのないコロナとの戦いが続き、また第八波が始まるうとしています。

それでも、世の中のコロナに対する対応はエビデンスがない部分やある部分、様々ですが、確実に変わってきています。

しかしながら、基礎疾患のある方や高齢者に関しては、今までと同様の生活を余儀なくされています。

二〇二二年一月からの第六波以降、県内で新規感染者がいらないという状況もなくなってきました。福祉の事業所として、ウィズ・コロナの在り方を作り上げていかなくてはいけないと考えています。

次々に変化をするウイルスへの対応にエビデンスが追い付いていない感がありますが、利用者の笑顔や職員の心理的負担の軽減のためにも、そろそろ新しい基準を国にも示してもらいたいものです。

そてつ会理事長 岡村 もも子

目次

表紙「カラットの秋祭り」

竹山苑	2
涼松	3
岡村さん家（通所介護）	4
カラット	5
ともいき	6

岡村さん家（居宅介護支援事業所）	6
決算報告	7
就任挨拶・新人紹介	8・9
そてつ会の地域貢献	10

今年も大収穫！

数年前から始めた竹山農園。五月の植え付けから約五ヶ月、大きなさつま芋が収穫出来ました。密にならないよう希望者数名で濡れ新聞紙とアルミホイルを巻き、焼き芋にしました。早く焼き芋が食べたいと皆さん黙々と準備に集中(笑) 焼き芋ができる「おいしい」とても甘いね」と皆さんとても良い表情で召し上がっていらっしゃいました。恒例となった竹山農園の収穫、利用者の皆さんに大変好評な行事の一つになっています。



コロナ禍での楽しみ

コロナ禍が続き、現在も外出や行事など、制限がかかっている状況が続いていますが、竹山苑では利用者の皆様に少しでも楽しさを持って過ごしていただけるようミニイベントの開催に取り組んでいます。今年は夏の風物詩『花火』や通所の方々の帰宅前遠足、秋祭り週間と銘打って縁日遊び等を行いました。それぞれ短い時間ではありましたが、皆さん終始笑顔で溢れていました。

帰宅前遠足で池田湖へ行きました！曇り空でしたが、皆さんの笑顔が届き、雨も降らず風もなく穏やかな日で、楽しいひと時を過ごすことができました♪



射的ゲームでは、「もう少し右！もう少し左！」などの声が飛び交い、大盛り上がりでした！



実習生受入れ

竹山苑では、これからの社会福祉を担う人材育成の場として、大学・短期大学・専門学校生の実習受入れを行っています。

コロナ禍で十分な実習が難しい時もありましたが、ようやく利用者として過ごせる時間が多く取れるようになってきました。現場での実践をとおして大きく成長していただけたらいいですね。



担当職員が付き、一つずつ丁寧に指導します。



利用者様と一緒に唐揚げ作り♪

祝 敬老



今年度も敬老会は開催できませんでしたが、お祝いのお食事を準備し、記念撮影も行ないました。

日頃写真慣れしていない方々も「敬老の日の記念撮影ですよ」と声を掛けると、とてもにこやかによい表情をされていました。恥ずかしそうに顔を背けたり、緊張される方もいましたが、とてもよい記念撮影ができました。

涼松では最高齢の方が百歳の表彰を受けられました。また入居から十二年過ぎられている方もいらっしゃいます。コロナ禍で面会や余暇活動の制限がある中ですが、少しでも穏やかに過ごしていただけますように努めていきたいと思ひます。

来年こそはご家族と一緒に敬老会が実施できるよう願うばかりです。



今年もたくさん実りました



中庭のスモモの木になった実をみんなで収穫しました。「家にはびわ、柿、みかんを植えていて、毎年楽しみにするものだった。」そんな昔話も聞かれています。いつもは鍵を開けることができないご利用者が、鍵を開けてすももを手押し車に一杯入れてきたときは職員もビックリすることでした。毎年、自家製のジュースやゼリーがふるまわれるのも夏の風物詩の一つになっています。



ご仏壇に手を合わせて

ご自宅でお元気に過ごされていた頃は、お盆やお彼岸、お墓参りやお寺での法要は当たり前のように行われていたと思います。

感染対応前は近隣のご住職をお呼びして、法話を頂き仏前でお参りをしていたが、今年も密を避けるために個別で仏様に手を合わせていただきました。ご先祖様に手を合わせ、お参りをすると気持ちいいです。



秋の味覚



昼食のメニュー『さんまの塩焼き』を実演しました。焼けるさんまがよい香りを漂わせ、染み出す脂が炭火に当たるときのジュワーっという音も最高でした。やはり、このあとの昼食は箸がよく進みました。



ハロウィン



十月三十一日、職員は仮装をして業務を行いました。

普段と少し違う職員の姿を利用者の皆さまに見て楽しんでいただきました。



コロナに負けるな

職員の感染対策として、出勤前の体調チェック、マスク着用、手指消毒、黙食、換気に心掛けています。また抗原検査キットを全職員が常備して、不安なときには自宅で検査できるようにしています。

短期入所の方もご利用前に抗原検査ができるように検査場所を設置しました。施設の中にウイルスが入ってこないように日頃から努めています。



※交流スペースの一角に検査場所を設置しています。駐車場から行き来できます。



いつまでもお元気で

皆さんの健康とご長寿をお祝いして敬老会が開催されました。
職員のリコーダー演奏に合わせて歌を唄ったり、踊りに手拍子やかけ声で盛り上げていただきました。
こころばかりですが今年はお箸をプレゼントさせていただきました。



お箸を
プレゼント

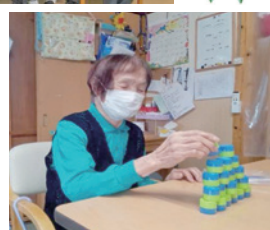


リハビリ活動紹介

利用者様と季節の制作に取り組んでいます。五月は手形を押して鯉のぼりのうろこに見立て、菖蒲の花も役割分担して仕上げました。
最近、皆さんと指先を使って色々なものを積み上げて遊んでいます。



高〜い
すご〜い、
職員も
顔負けです



赤白頑張れ〜 競った笑った運動会

毎年恒例の運動会、運動帽子やハチマキがよくお似合いです。応援合戦や紙コップリレーでもチームワークよく連係プレーで競技が進みました。



お弁当
おいしそう
でしょう♡



ワイワイガヤガヤ 縁日体験

コロナ禍の中、少しでもお祭りの雰囲気味わっていただこうと、魚すくいや射的を行いました。
皆さん、童心にかえりワイワイがやがや賑やかに楽しまれました。
射的をされながら、「こりや、むんかひか(難しい)もんじゃ!」と何度も挑戦される姿もみられました。



休日のお楽しみ！

休日や長期休み中のお楽しみの一つが、公園に出かけて遊ぶことです。公園では、遊具で遊んだり、広場でサッカーやおにごっこをしたり、友だちや職員と好きな遊びを楽しんでいます。これからも、季節を感じながら、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しんでいきたいと思っています。



合同防災訓練



夏休みに竹山苑と合同で行われた、火災時における防災訓練に参加しました。消火訓練や消防車の見学もさせていただき、消防車を近くで見ることができて大喜びでした。最後に、火災についての動画で防災訓練の振り返りをしました。子どもたちにとって、火災について学ぶとてもいい機会となりました。

「おかしも」を守って避難しました。

おさない かけない
しゃべらない もどらない



作るの、楽しいよ！

活動の一つとして、季節の行事や習わしに合わせた制作活動を、一人一人の子どもの発達等に合わせた内容で行っています。ハサミなどの道具や様々な材料を使って組み立て、出来上がると嬉しそうに見せています。これからも、様々な制作活動を取り入れ、季節を感じながら子どもたちと楽しみたいと思います。



秋祭り〜縁日〜

お祭りの雰囲気をみんなで楽しもうと、秋祭りを開催しました。チケットと交換で、射的や輪投げ、ヨーヨー釣りやスーパースターボールをしました。特に人気だったのが射的で、お目当てのお菓子を当てようと何度も挑戦していました。自分で獲得したお菓子やヨーヨーなどを手にして、終始嬉しそうなお子どたちでした。



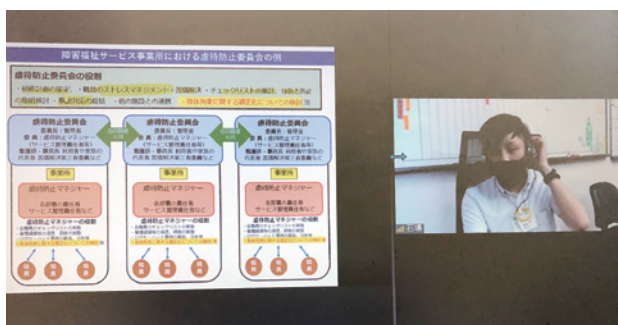
地域における 虐待防止の取り組み

相談支援事業所ともいきは、指宿市地域自立支援協議会に参画しています。

自立支援協議会とは、障害のある方々の様々な課題の解決に対し、障害分野だけでなく関係機関が連携し、地域として取り組むべき課題等を協議する場として、設置されたものです。指宿市では、「相談支援」「精神保健」「就労・生活」「子ども支援」の四部会も設置され、各専門分野の関係機関、関係団体の専門職が毎月集まって協議を行っています。

先般、令和三年度障害サービス等報酬改定における主な改定内容として、障害者虐待防止のさらなる推進、身体拘束等の適正化の推進が示され、令和四年度から虐待防止委員会の設置や従業者への研修の実施、虐待防止等の為の責任者の設置が義務化されました。これを受けて今年度は、四部会合同による「障害者虐待防止・権利擁護研修」をオンラインで行い、当事業所の石場管理者が講師を務め、制度の改正部分と事業所がこれから取り組まなければならない課題について講義を行いました。その後市内の事業所から法人での実践報告の発表があり、さらにグループワークで各事業所の取組についての情報共有や意見交換を行いました。

研修会には、障害福祉サービス事業所を始め、児童、医療、学校関係機関等、多数の参加があり、虐待を防止する為の共通認識を図る良い機会となりました。今後も、顔の見える関係作りと連携を強化し、地域における虐待防止や権利擁護を推進していけるよう、貢献していきたいと考えています。



岡村さん家 (居宅介護支援事業所)

岡村さん家 居宅介護支援事業所

デイサービス(通所介護)と
デイケア(通所リハビリテーション)の
違いって何？

「ケアに行きたいんだけど、ケアってデイサービスのこと？リハビリのこと？」と聞かれることがあります。介護保険サービスの中には、「デイサービス」と「デイケア」といったサービスがあり、これらはそれぞれ異なったサービスです。

デイサービスとは「通所介護」と呼ばれ、事業所に通い食事・入浴・レクリエーション活動・機能訓練(リハビリ)の資格を持たない人も行うことができ(運動など)といった介護サービスを受けることができ、楽しみや生きがい、生活リズムの安定やご家族の介護負担の軽減を図り、ご自宅でできるだけ自立した日常生活を送ることができるよう支援することを目的としていることが多いようです。最近では機能訓練型デイサービスなど、介護サービスメインではなく機能訓練をメインとした通所介護事業所もあり、体力の向上・介護予防を目的としたプログラムを専門家のサポートにより受けられるデイサービスもあります。デイケアとは「通所リハビリテ

ション」と呼ばれ、事業所に通い介護サービスが受けられることに加えて、リハビリの専門職によるリハビリを受けることができ、身体機能の維持・回復のための個別リハビリの提供や、身体機能の低下に伴い日常生活で困っていることなどに対してのリハビリを行うことで、生活範囲の拡大や生活機能維持・向上を目的としていることが多いようです。

加齢による身体機能の低下がみられる、他者との交流がしたい、退院したばかりなので生活に不安がある、骨折や変形性関節症等により身体に不自由さを感じているなど様々な身体状況や症状により「どこの(どんな)サービスを利用した方が良いのか」と悩まれる方も多くいらっしゃるかと思えます。デイサービスとデイケアは併用して利用することも可能で、通所系のサービスに限らず様々なサービスがありますので担当の介護支援専門員に「こんな生活を送りたい、こうなりたいけれどどうしたらよいのか。」などと相談し、検討されてみてはいかがでしょうか。

社会福祉法人 そてつ会

理念・目的

1 共に生きる地域社会の実現を目指します
地域で暮らすすべての人たちが、手を取り合い、助け合いながら、幸せに生活が送られることを目指します。

2 ご利用者の権利を尊重した支援を行います
一人の人間として尊厳を守り、ご利用者の権利を擁護し、本人主体のケアを追求します。

基本方針・運営方針



基本方針

私たちは、そてつ会の理念である『共に生きる』『利用者主体』を胸に刻み、年を重ねても、病気があっても、障害があっても、その人らしさを大切にし、地域住民の一人として尊重されるケアを心がけ、地域の中にある施設としての使命を果たします。



令和3年度 決算報告

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	218,837,201	流動負債	45,391,927
現金預金	132,340,304	事業未払金	11,945,018
事業未収金	81,068,785	その他の未払金	819,133
未収金	0	1年以内返済予定設備資金借入金	2,500,000
未収補助金	1,896,568	1年以内返済予定リース債務	2,163,324
立替金	529,747	1年以内支払予定長期未払金	0
前払金	50,266	預り金	111,919
前払費用	1,709,919	職員預り金	2,058,401
1年以内長期前払費用	586,562	賞与引当金	25,794,132
1年以内回収予定長期貸付金	365,050		
仮払金	290,000		
固定資産	984,645,699	固定負債	50,351,495
基本財産	421,381,084	設備資金借入金	2,500,000
土地	116,438,000	リース債務	3,784,420
建物	304,943,084	退職給付引当金	44,067,075
その他の固定資産	563,264,615		
土地	7,653,187	負債の部合計	95,743,422
建物	10,406,218	純資産の部	
構築物	3,818,642	基本金	224,624,115
機械及び装置	90,720	基本金	224,624,115
車両運搬具	1,537,738	国庫補助金等特別積立金	184,457,053
器具及び備品	18,893,933	国庫補助金等特別積立金	184,457,053
有形リース資産	5,947,744	その他の積立金	464,510,758
権利	10,500	建設積立金	464,510,758
ソフトウェア	1,024,930	次期繰越活動増減差額	234,147,552
長期貸付金	1,561,870	(うち当期活動増減差額)	1,769,957
退職給付引当資産	44,067,075		
建設積立資産	464,510,758		
長期前払費用	2,187,430		
その他の固定資産	1,553,870		
資産の部合計	1,203,482,900	純資産の部合計	1,107,739,478
		負債及び純資産の部合計	1,203,482,900

資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

科目	金額
事業活動収入	579,803,128
事業活動支出	549,649,115
事業活動資金収支差額	30,154,013
施設整備等収入	0
施設整備等支出	14,855,540
施設整備等資金収支差額	-14,855,540
その他の活動収入	1,782,787
その他の活動支出	7,240,776
その他の活動資金収支差額	-5,457,989
当期資金収支差額合計	9,840,484
前期末支払資金残高	193,110,634
当期末支払資金残高	202,951,118

事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

科目	金額
サービス活動収益	578,835,466
サービス活動費用	577,128,124
サービス活動増減差額	1,707,342
サービス活動外収益	967,662
サービス活動外費用	905,041
サービス活動外増減差額	62,621
経常増減差額	1,769,963
特別収益	0
特別費用	6
特別増減差額	-6
当期活動増減差額	1,769,957
前期繰越活動増減差額	232,377,629
当期末繰越活動増減差額	234,147,586
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	34
次期繰越活動増減差額	234,147,552

就任のご挨拶



竹山苑
苑長 石場 俊秋

令和四年七月より竹山苑苑長に就任いたしました。

私は二十数年前に障害福祉の世界に飛び込み、知的障害者施設での支援、身体障害者施設での支援、地域の障害者の相談支援を実践してまいりました。この経験の中で、ご利用者や先輩が、同僚の仲間たち、関係機関の方々からたくさんのご指導をいただきたまいました。

また、三年前には当苑の創立四十周年記念事業に携わり、改めて当苑の存在意義や果たしてきた役割と地域からの期待、創設者の想いや理念を確認する大変貴重な機会をいただきました。

これらの経験を胸に、今後も当苑が果たすべき社会的使命を十分に自覚しながら、ご利用者やご家族が「ここで暮らしたい」「ここで暮らせてよかった」と、また、職員が「ここで働きたい」「ここで働けてよかった」と思えるような施設運営に、微力ではございますが努めてまいりたいと存じます。

今後とも皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



放課後等デイサービス
カラット管理者
岡村 栄子

これまで竹山苑のサービス管理責任者として従事していましたが、

このたび令和四年七月よりカラットの管理者並びに竹山苑副苑長も務めさせていただきますことになりました。

カラットとは宝石の重さの単位のことですが、子どもたちには宝石のようにそれぞれ個性・特性を持った輝ける未来がある、無限の可能性を秘めている、そんな子どもたちを支えていくんだということで「カラット」と命名し事業を始めたところです。

開所三年目に入り、利用する子どもたち一人ひとりの個性や魅力がより一層輝いていくよう向き合い、保護者の皆様と共に成長していく姿にやりがいを感じながら、子どもたちが自分らしくいられるような場所にしていきたいと日々頑張っています。これからも当法人の理念である「ともに生きる」地域社会を目指して、皆様に地域で支えるネットワークのひとつとして、その役割を果たしていきたいと考えております。

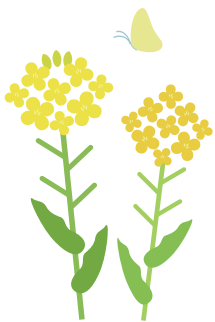
今後とも、ご指導・ご教示のほど、よろしくお願い申し上げます。

新入職員



竹山苑
生活支援員
阿萬 ちひろ

以前はサービス業や接客業の仕事をしていました。何か新しいことに挑戦したいと考えていたところ、長く介護の仕事が続けている友人の話聞いて興味湧いてきました。思い切って転職し未経験で一年程働きましたが、専門的な知識や根拠に基づいた介護技術の必要性を感じ、専門学校に入学しました。その実習で竹山苑にお世話になった際、職員と利用者様の温かいコミュニケーションの様子を見て「ここで一緒に働かせていただきたい」と思いました。初めはとても緊張し不安でいっぱいでしたが、先輩方のご指導のおかげで業務に慣れることができました。最近は利用者様に声をかけていただくことも増え、とても嬉しいです。これからも精一杯努めていきたいと思えます。



竹山苑
生活支援員
堤 友乃花

竹山苑には専門学校のときに現場実習をさせていただきまして、その人らしく生活を送られるように個々に応じた支援を行っている職員の方々、職場の雰囲気の良いさに惹かれ、ぜひこちらで働かせていただきたくと就職を決意しました。

利用者様一人ひとりの介助方法も様々あり、初めは介助手順や方法を覚えられるか不安な気持ちでいっぱいでしたが、先輩方が優しく丁寧に教えてくださり、少しずつですが介助技術を身に付けられ、仕事に活かせるようになりました。また、先輩方に気軽に相談や質問もできるため、安心して働くことができています。これからも沢山学び、経験を積んでいきたいと思えます。



就任のご挨拶



涼松
施設長 上村 修

今年七月、施設長に就任しました。広報誌に載せる顔写真を悩みましたが、右の写真にしました。不謹慎と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、お許しください。

『施設』は、いったん入所すると、地域とのつながりが切れてしまうことがあります。ましてやこのコロナ禍、一層強くなりました。職員は工夫しながら旬の季節感を演出しようと一生懸命です。

十月三十一日はハロウィンでした。今のお年寄りには、なじみがない行事ですが、しかし、日々の暮らしに潤いと刺激をとの思いで、その日は「ノー制服デー」にし、仮装勤務OKにしました。利用者は職員の仮装に驚き、大笑いでした。右の写真は、その日の私の仮装です。一日これで過ごし、利用者ともふれ合いました。笑顔になれる生活を送ることで、人は癒され、気持ち安定します。それは『施設』で過ごす利用者もそこで働く職員も同じです。

一人ひとりがお互いの存在を尊重し、笑顔あふれる施設運営に努めてまいります。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

インドネシアから こんにちは

全国的な人口減少で、介護職員確保が法人全体の課題になっています。二年前に鹿児島県が、介護分野で人手不足を補うため、外国人に働いていただく特定技能制度の募集を行ない、そつ会も、「涼松」を受入れ事業所にして、参加を申し込みました。

昨年二月オンラインで面接し、二人のインドネシア人に内定通知書を出しました。当初は昨年四月から就業の予定でしたが、感染が収まらず、延期が続き、オンラインで面談は続け、職員会議にも一度はオンライン参加してもらいました。

コロナ感染が少し落ち着いて今年六月に入国し、用意した職員寮に入りました。七月一日から無事、涼松で就労を開始。

二人とも明るい性格で、職場にも溶け込んで、利用者を支えています。

見かけたら、声を掛けてください。



新入職員

昨年末から、四名の職員が入職しましたのでご紹介します。

介護職として、森さん、エリンさん、アングンさん。看護師として蓮香さんが就労しています。

エリンさん、アングンさんは、インドネシアの出身です。日常会話には困らないほど、日本語がとても上



職種
介護職員

名前
森 彩恵

趣味、好きなこと
音楽鑑賞
小説を読むこと



一言
自分なりに精一杯頑張ります。



職種
介護職員

名前
ヌリンダ
アングン プテリ

趣味、好きなこと
アニメを見ること
旅行すること、料理をすること



一言
旅行に行きたい!!



職種
看護職員

名前
蓮香 良文

趣味、好きなこと
愛犬との散歩



一言
プライベートを充実させたいです。



職種
介護職員

名前
エリン
マルティナ

趣味、好きなこと
本を読むこと、映画を見ること
旅行すること



一言
人生は一度きりなので毎日楽しめます! 頑張ります!

手です。森さんは高校卒業後、すぐに介護の世界に飛び込んだきた頑張り屋です。今では、夜勤もこなすようになりました。蓮香さんは、今後は温泉地を楽しみたいとそつ会のホームページを見て、宮崎からやって来ました。法人の就労補助制度を利用しての就労となりました。そつ会の一員として、一緒に頑張ります。

そてつ会の地域貢献



涼松と別府小をオンラインでつないで、福祉の授業を行いました。

ポスター・標語の優秀作品を体育館で表彰。他の児童は、教室のTVで視聴しました。



そよ風事業

新しい生活様式での地域貢献

今年もコロナの感染が続いているなかでの地域貢献活動となりました。

別府小学校との協働活動は、昨年に引き続きオンラインを活用しての交流です。高齢者施設の動画を見た子どもたちの質問を受けて「福祉の授業」を行いました。

夏休みに人権に関する標語やポスターを作製してもらい、11月の教育・文化週間をはさんだ2週間、町なかの店舗等に掲示し、道路上に「のぼり旗」を立て、事業の啓発をしました。



別府小前の道路にも、のぼり旗を立てました。

学習支援事業

学習支援事業は、南九州市顚娃町内すべての小・中学校から、今年度は15世帯26人の子どもたちが参加しています。コロナ流行が下火になった月に活動を行い、提供するお弁当は持ち帰っていただく形で続けています。

お弁当の食材や食品類は、フードバンクや近隣の事業者からご協力をいただいています。



社会福祉法人 そてつ会



障害者支援施設 竹山苑

鹿児島県指宿市山川福元4856番地1
TEL (0993) 35-2131

相談支援事業所 ともいき

鹿児島県指宿市山川福元4856番地1
TEL (0993) 35-2135

放課後等デイサービス カラット

鹿児島県指宿市山川福元4856番地1
TEL 080-9248-4857



特別養護老人ホーム 涼松

鹿児島県南九州市顚娃町別府5539番地1
TEL (0993) 38-0121

通所介護事業所 岡村さん家

鹿児島県南九州市顚娃町別府4845番地3
TEL (0993) 38-2840

岡村さん家 居宅介護支援事業所

鹿児島県南九州市顚娃町別府4845番地3
TEL (0993) 38-2840

